

V 水教育推進プラン

現状と課題

- 行政用語や専門用語を使用した授業形式による水教育では、子どもたちの関心や理解が深まらない恐れがあります。
- 県民との連携不足により、水教育が単発的・地域限定的な実施に留まる可能性があります。
- 県民の理解や関心をより一層深めるため、水教育関連のイベントをはじめとする多様なPR活動を推進する必要があります。

目標と主な方針

【目 標】 “とくしま”ならではの水管理を次世代へ継承する水教育

- 【主な方針】
- ①子ども目線に立った水教育の普及
 - ②全ての県民が関わる水教育の連携
 - ③全国に向けた本県の水教育の発信

基本施策

1 次世代を担う子どもたちをはじめとする、地域住民への水教育の推進

地域住民及び教育機関等と一層の連携を図り、次世代を担う子どもたちなどを対象として積極的に参加を促し、対話型の体験学習、ワークショップ等での水教育を推進します。

【施策1-1】学校、企業、民間団体、家庭など「多様な場における環境学習等」の促進

【施策1-2】小、中、高等学校及び高等教育機関での「学校における水教育」の推進

【施策1-3】「健全な水循環の重要性」に対する理解と関心を深めるための水教育の推進

【施策1-4】事業がわかる現地見学会や出前講座等の実施

【施策1-5】流域の自然環境への理解と関心を深めるための水教育の推進

【施策1-6】歴史、水文化等に関する研修会及びイベントの実施

【施策1-7】地域住民に対する災害文化等の伝承の推進

【施策1-8】良好な河川環境の形成に向けた住民主体による普及啓発活動の促進

【施策1-9】避難訓練等を通じた防災に関する知識や理解の醸成

【施策1-10】人間形成の基礎を培う幼児期における水教育の推進

2 「OUR（あわ）」の水文化等を継承するための人材育成

県民が水に関わる歴史・水循環等の重要性を正しく理解できるよう県民への節水等の啓発や防災情報の理解度向上を推進する人材の育成と活動の支援を行います。

【施策2-1】「OUR（あわ）」の水文化等を継承するための「人材育成」の推進

3 水教育を効果的に実施する仕組みの構築

効果的に水教育を推進するため、水に関わる資料やわかりやすい教材などを用いて幅広い普及啓発を行う仕組みを構築します。

- 【施策3-1】 創意工夫を凝らした、水教育関連の教材の提供
- 【施策3-2】 自然観察や体験機能を備えた「環境学習拠点」の整備
- 【施策3-3】 県民の水防意識の向上を図る行事の開催
- 【施策3-4】 水に関わる歴史的資料の収集・保全・活用及び「流域水管理遺産（仮称）」の認定
- 【施策3-5】 水管理に携わる団体等への顕彰制度の実施
- 【施策3-6】 自ら考え率先して避難行動できる意識を醸成する防災教育の推進
- 【施策3-7】 人々が集い水辺に触れあえる散策道として河川管理施設等の活用
- 【施策3-8】 県民が防災情報を身近に感じるツールの開発と普及啓発

4 水教育の考え方を効果的に県内外へ向け発信

県民誰もが容易に水教育の場へ参加できるような環境づくりを進めるとともに、県内の水教育を全国へ発信します。

- 【施策4-1】 水の重要性や大切さに対する理解を互いに深める「上下流交流会」の開催
- 【施策4-2】 体験型観光や流域ツーリズムなどの実施
- 【施策4-3】 水管理の取組を県内外へ広く発信する「水管理計画推進サポーター」の創設



【施策1-1】
河川環境学習



【施策1-9】
「徳島県水防の日」学習会



【施策3-2】
水の日関連行事(打ち水)

【施策1-1】学校、企業、民間団体、家庭など「多様な場における環境学習等」の促進

＜概要＞

学校や企業、民間団体などの関係機関と連携した自然体験学習や環境学習、家庭での水教育など、幼児から高齢者までの各ライフステージに応じた環境学習などを実施します。

＜施策のイメージ＞

◆各世代に応じた環境学習の実施



河川環境学習



自然観察会(植物、野鳥)

右：徳島河川国道事務所HP「OUR吉野川Vol.24」より



植物観察会



押し花教室

左右：徳島河川国道事務所HP「OUR吉野川Vol.16」より

＜施策による効果＞

幅広い世代の方の水環境に対する意識が向上します。

【施策1-2】小、中、高等学校及び高等教育機関での「学校における水教育」の推進

＜概要＞

小、中、高等学校及び高等教育機関での学校教育において、水をテーマにした歴史や文化に加え、水資源、環境、防災に関する教育を各段階に応じて実施します。

＜施策のイメージ＞

◆水に関わる教育の実施



水防に関するポスターコンクール（徳島県）



水の作文コンクール

右：国土交通省HP「全日本中学生水の作文コンクールポスター」より

◆河川環境学習や水管理についての講座



山口小学校



徳島中学校



那賀高校

＜施策による効果＞

子どもたちの水循環や河川などに対する意識や関心が深まります。

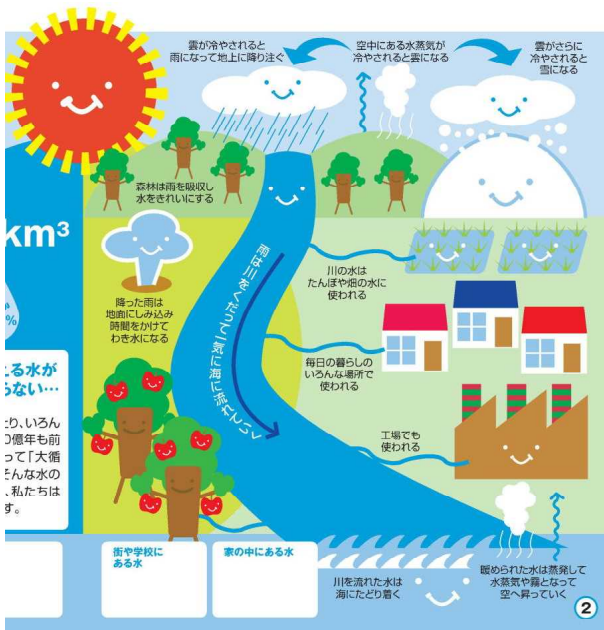
【施策1-3】「健全な水循環の重要性」に対する理解と関心を深めるための水教育の推進

＜概要＞

水源地である山の環境までを含めた流域全体に関する教育の実施や、日常生活において水循環に関する環境保全活動の普及啓発を総合的かつ体系的に実施します。

＜施策のイメージ＞

◆流域全体を含めた教育や家庭における環境保全活動の普及啓発



流域全体に関する教育



日常生活でできる水質汚染対策

左：環境省HP「浄化槽による地域の水環境改善の取組み」より、右：環境省HP「生活排水読本」より

＜施策による効果＞

健全な水循環の重要性に対する理解や関心が深まります。

【施策1-4】事業がわかる現地見学会や出前講座等の実施

＜概要＞

地域住民を対象に、ダムや河口堰をはじめとする河川管理施設の現地見学会や出前講座などを実施します。

積極的な情報開示により、河川管理施設の役割や仕組みについて理解してもらうとともに、身近な施設として認識することが可能となります。

＜施策のイメージ＞

◆河川管理施設の現地見学会



河口堰での現地見学会



小水力発電所での現地見学会

＜施策による効果＞

河川管理施設の役割や仕組みについて地域住民の理解が深まります。

【施策1-5】流域の自然環境への理解と関心を深めるための水教育の推進

＜概要＞

県民に水の貴重さや、河川管理上の労力や費用が伴うことを理解してもらうため、河川周辺の清掃活動や水生生物の調査など、地域住民と連携した河川の美化や愛護に関する活動を推進します。

＜施策のイメージ＞

◆河川一斉清掃、河川愛護活動（水生生物調査）の実施



河川一斉清掃



穴吹川における水生生物調査

＜施策による効果＞

河川や流域の自然環境に対する地域住民の理解と関心が深まります。

【施策1-6】歴史、水文化等に関する研修会及びイベントの実施

＜概要＞

治水や利水の歴史、水文化などの学習を通して、水の怖さや恵み、魅力などを再認識できる研修会やイベントを開催することにより、県民の水管理に関する理解・関心を深め、積極的な取組を推進します。

＜施策のイメージ＞

◆水文化に関する展示(阿波踊り空港)



◆水文化に関するイベント(那賀川源流碑開き)



＜施策による効果＞

治水や利水の歴史、水文化に関する県民の理解・関心が深まります。

【施策1-7】地域住民に対する災害文化等の伝承の推進

＜概要＞

次世代を担う子どもたちをはじめとする地域住民を対象に、語り部による災害体験談を通して、過去に発生した浸水箇所、浸水への備えや工夫などの伝承活動を推進します。

＜施策のイメージ＞

◆過去の災害体験談の伝承活動



阿南市福井町

＜施策による効果＞

地域の歴史や文化、日常生活における知恵などを学び、地域住民の防災意識が高まります。

【施策1-8】良好な河川環境の形成に向けた住民主体による普及啓発活動の促進

＜概要＞

住民主体による出前授業や自然観察会など、良好な河川環境の形成に向けた普及啓発活動を促進します。

＜施策のイメージ＞

◆「みんなで水質汚濁を考える教室」での出前授業



簡易水質検査キットを用いての水の汚れについての実験

左右：鳴門市第一小学校HPより

◆住民が主体となった取組



草刈りや清掃活動



学校を対象とした環境教育

左：NPO法人江川エコフレンドHPより 右：藍住町より（正法寺川を考える会）

＜施策による効果＞

良好な河川環境が形成されます。

【施策1-9】避難訓練等を通じた防災に関する知識や理解の醸成

＜概要＞

地域住民を対象とした避難訓練や防災キャンプをはじめとする防災関連のイベントを通じて、防災に対する理解や関心を深めるとともに、災害時における迅速な行動につながる知識の習得を図ります。

＜施策のイメージ＞

◆地域での避難訓練、炊き出し訓練



右：日本赤十字社HPより

◆「徳島県水防の日」学習会を実施



排水ポンプ車の見学



川や治水・水防等に関する講座



水防の日学習会
(動画)

＜施策による効果＞

地域や個人の防災力が強化され、自助、共助に対する意識が高まります。

【施策1-10】人間形成の基礎を培う幼児期における水教育の推進

＜概要＞

人間形成の基礎を培う幼児教育において、身近な川や海、水辺、プールなどをフィールドに、「水」に触れ、感覚を通して様々な事象に気づき、水の楽しさや恐さ、大切さについて学ぶ体験活動などを推進します。

＜施策のイメージ＞

◆こども園でのマリンキャンプ



四国大学付属認定こども園HPより

◆NPO法人主催による鮎のつかみどり体験



NPO法人江川エコフレンドHPより

＜施策による効果＞

幼児期から水に触れあうことで、水への興味や関心が育まれ、水に対する豊かな感性が培われます。

【施策2-1】「OUR（あわ）」の水文化等を継承するための「人材育成」の推進

＜概要＞

「OUR（あわ）」の水文化を継承するため、高石垣や印石などの洪水遺産の見学会や水教育担当者交流会議を開催し、水質保全や節水等を啓発するエコライフ指導員や環境学習の指導者、防災情報の理解度向上を推進する人材、洪水遺産などの文化財を保存・伝承するための団体や後継者、子どもたちが川で安心して楽しめるよう支援する人材などを育成します。

＜施策のイメージ＞

◆人材育成のための取組イメージ



＜施策による効果＞

人と人のネットワークの形成により、水文化を継承する人材が育ちます。

【施策3-1】 創意工夫を凝らした、水教育関連の教材の提供

＜概要＞

教育機関・民間団体・河川施設管理者との連携のもと、子どもをはじめとした幅広い世代の県民を対象として、円滑かつ効率的に環境学習ができるよう、体験型や4K動画など、創意工夫を凝らした水教育に関する教材を作成するとともに、多様な場面で活用します。

＜施策のイメージ＞

◆洪水や地震に関する体験が出来る施設の整備



徳島県立防災センター（板野郡北島町）



＜施策による効果＞

新技術や体験型の施設を活用し、質の高い水教育関連の教材の提供が可能となります。

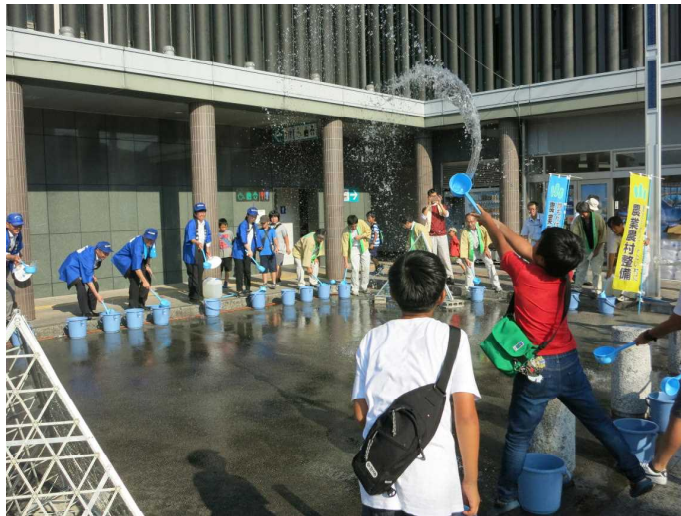
【施策3-2】自然観察や体験機能を備えた「環境学習拠点」の整備

＜概要＞

地域住民や博物館をはじめとする教育機関等との連携により、次世代を担う子どもたちが効果的な水教育を受けられるよう、河川や森林における自然観察や体験機能を備えた環境学習拠点の整備を図ります。

＜施策のイメージ＞

◆水の日における関連行事(打ち水)の実施



阿南駅で開催された打ち水

◆「河川を利用した環境学習や自然体験学習をサポートする場」の整備



河川環境学習



水生生物調査

＜施策による効果＞

河川や森林などの自然への理解や関心が深まります。

【施策3-3】 県民の水防意識の向上を図る行事の開催

＜概要＞

治水や水文化に関する歴史的価値の高い資料の展示による啓発活動や、水防関連イベントなどの実施により、県民一人一人の水防意識を向上させ、徳島県の防災力向上を図ります。

＜施策のイメージ＞

◆水文化に関する歴史的価値の高い資料の展示による啓発活動



その地区の水害状況を表す高地蔵(左)や川島神社(右)により、県民の水防意識の向上を図る

◆徳島県水防の日における啓発を図る行事の開催(水防に関する講演会)



水防工法体験(ロープワーク)



水防学習
(動画)

＜施策による効果＞

県民一人一人の水防意識と本県の防災力が向上します。

【施策3-4】水に関わる歴史的資料の収集・保全・活用及び「流域水管理遺産(仮称)」の認定

＜概要＞

県内の博物館等と連携し、水に関わる歴史的資料を収集、保全するとともに「流域水管理遺産(仮称)」へ認定します。また、歴史的資料の検証により、先人の知識を導き出し、現代社会で活用し、今後の河川整備計画や水教育における様々な場面で活用します。

＜施策のイメージ＞

◆ 「流域水管理遺産(仮称)」認定による洪水文化の保全・伝承



高地蔵



上げ舟



高石垣



水防竹林

左：徳島河川国道事務所より

＜施策による効果＞

水に関する歴史的資料、技術などが次世代を担う子どもたちへ伝承されます。

【施策3-5】水管理に携わる団体等への顕彰制度の実施

<概要>

水管理の推進に関して顕著な功績を納めた個人又は団体を表彰することにより、表彰者をはじめとする水管理関係者の意識、意欲の向上を図ります。

<施策のイメージ>

◆水管理の推進に関する表彰



吉野川の恵みをテーマとしたフォーラム「吉野川が育んだ“水文化と食”」において表彰(平成29年12月)

<施策による効果>

水管理関係者の意識・意欲が向上し、水管理に係る活動が促進します。

【施策3-6】自ら考え率先して避難行動できる意識を醸成する防災教育の推進

＜概要＞

自然災害などから命を守り、自ら考え、率先して避難行動できる意識を育成する必要があるため、関係機関及び住民が一体となった防災訓練をはじめとする教育を推進します。

＜施策のイメージ＞

- ◆防災活動に携わっている専門家による防災教育
(自然災害時に有益な情報や技術などの学習)



防災訓練の状況(鷺敷小学校)



出前講座(穴吹小学校)

＜施策による効果＞

自然災害発生時、県民自らが危険を判断し、回避する能力が向上します。

【施策3-7】人々が集い水辺に触れあえる散策道として河川管理施設等の活用

<概要>

通常、河川の巡視や水防活動など、河川管理のために設置されている河川管理施設について、比較的車両の通行が少なく、安全で快適といった利点を活かし、地域の人々が集い、気軽に水辺に触れ合える散策道に活用します。

<施策のイメージ>

◆管理用通路を散策道へ整備した事例(新町川)



- ・ 県の特産である青石を使った修景護岸
- ・ 護岸にLEDイルミネーションを設置



- ・ 温かみのある木の遊歩道の整備



週末には多くのパラソルショップが並び
ダンスショーやジャズ演奏など、イベントが頻繁に行われている

<施策による効果>

地域の人々が水辺に集いやすくなり、水と触れ合う機会が創出されます。

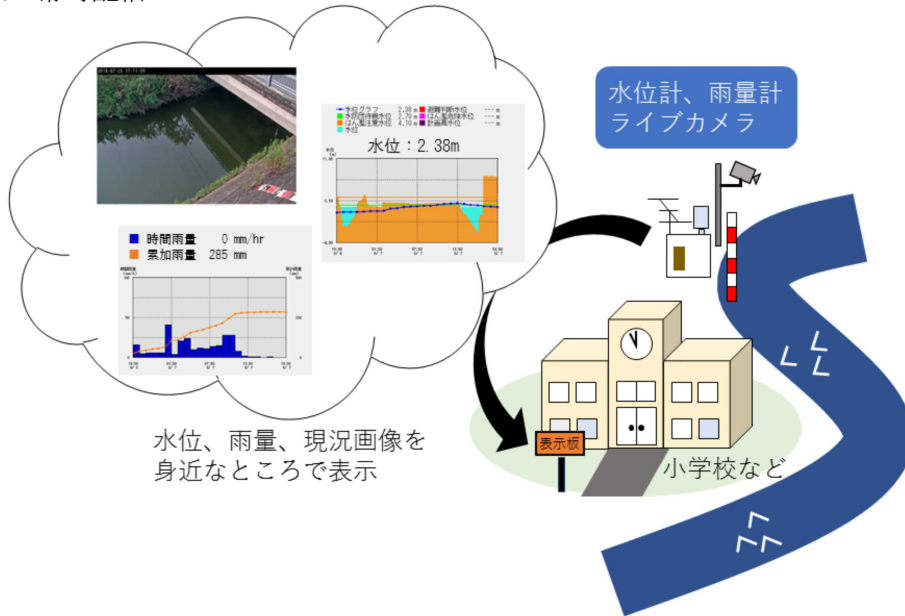
【施策3-8】 県民が防災情報を身近に感じるツールの開発と普及啓発

＜概要＞

災害から身を守るためには、日頃から防災情報を学び、活用して、自ら避難行動する適切なタイミングや方法、場所を選択することが必要です。このため、少しでも多くの県民が防災情報を身近に感じるツールの開発、普及啓発を行っていきます。

＜施策のイメージ＞

◆防災情報の常時配信



◆防災情報を生活圏において表示



吉野川が氾濫した場合に
想定される浸水深を電柱
に表示

まるごとまちごとハザードマップ

＜施策による効果＞

県民の自ら守る「自助」、近隣の人々を助け合う「共助」の力が向上します。

【施策4-1】水の重要性や大切さに対する理解を互いに深める「上下流交流会」の開催

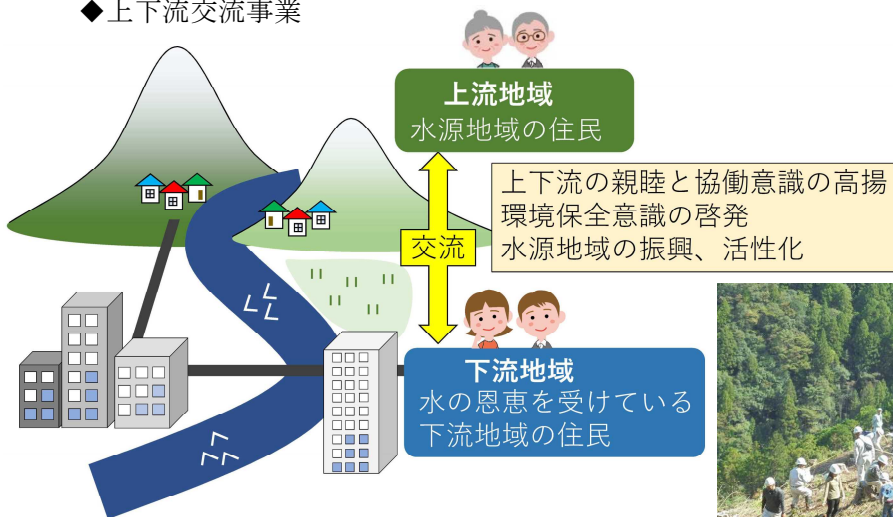
＜概要＞

水資源の有限性や水資源施設、水源林の重要性について考え、上流と下流に住む人々の交流を図り、水源地域に対する理解を深めるため、学校や住民等を対象とした川の上下流交流会を開催します。

また、上流域の森林が資源としてだけでなく、下流域の災害防止や豊富で良質な水の供給、豊かな漁場の形成にも恩恵を与えていることを認識し、林業や漁業関係者が連携して森林づくりを行うなど、地域や業種を超えた交流を推進します。

＜施策のイメージ＞

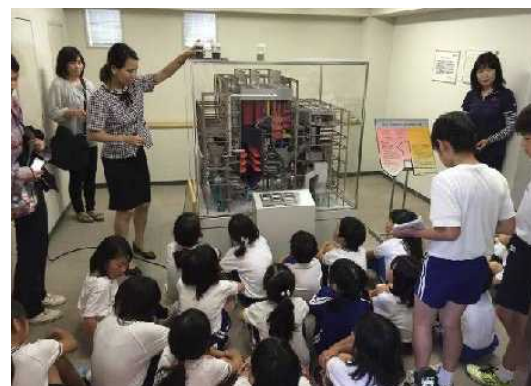
◆上下流交流事業



下流の住民が参加する吉野川水源地域(高知県)での植樹活動



那賀川探検バスツアー



上流の子どもたちによる下流域見学体験ツアー

＜施策による効果＞

水の重要性や大切さに対する県民の理解度が向上します。

【施策4-2】体験型観光や流域ツーリズムなどの実施

＜概要＞

水に親しむとともに、水への理解と関心を深めるため、豊かな自然環境や地域特有の歴史文化、また、県内に架かる多くの橋などの水に関する恵まれた観光資源を利用した体験型観光や流域ツーリズムを実施します。

さらに、水辺利用などに関する県民のマナー啓発に努めます。

＜施策のイメージ＞

- ◆大歩危峡・小歩危峡でのラフティング
- ◆池田ダム湖でのウェイクボード



左：三好市より

- ◆歴史や文化などを体験する舟巡りツアー

徳島しよるりクルーズ

吉野川～阿波藍～阿波人形浄瑠璃
温暖な気候、豊富な水、肥沃な土地が育んだ徳島の文化をお楽しみください！

「しよるり」は、美しい宝石を意味する言葉。吉野川～阿波藍～阿波人形浄瑠璃は、まさに徳島の誇る美しい宝石です。日本の三大養蚕川とされる吉野川が毎年運んでくる肥沃な土で育てた阿波藍は、徳島に大きな富をもたらした。明治23年に徳島市は人口約6万人、全国で11番目の大都市として繁栄しました。その経済力や全国各地との交流を背景に徳島は、阿波人形浄瑠璃や阿波おどりなどの芸術としての名を馳せました。水都・徳島の川を遊覧船で航行し、阿波十郎兵衛屋敷で阿波人形浄瑠璃を鑑賞し、そして貴重な伝統的「阿波藍」による阿波藍染め体験。徳島には徳島産の良材を使ったお弁当をご用意します。

実施日 平成30年4月～10月の毎週日曜日
(7月29日、8月12日を除く。天候、雨の不測によって運航できない場合がありますので、お問合せください。)

水都・徳島の川を遊覧船で航行 付中



＜施策による効果＞

水に親しむとともに、水への理解と関心を深めます。

【施策4-3】水管理の取組を県内外へ広く発信する「水管理計画推進サポーター」の創設

＜概要＞

本計画が掲げる施策に関連する取組やイベントへの参加または情報発信などを行う県民等を「水管理計画推進サポーター」として登録し、更なる積極的な活動を促すことで、施策の取組等を県内外へ波及させます。

＜施策のイメージ＞

◆ 「水管理計画推進サポーター」のイメージ



＜施策による効果＞

県内外への情報発信により、取組への参加者の増加が見込まれます。